六日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行、金一四拾
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五八五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

閑伽生氣

入學考査問題に就いて（下）

高木稻水

私の經驗に依れば内申書（現在は報告書）で採用を拒否されるのはほんの僅かで、大抵の内申書の人物評はまるで聖人君子のばけ物のやうな立派な評語がつけてあつてこの生徒を採用しなかつたらこつちが惡いやうな氣がする程のものばかりだ。是を小學校側のインチキとするは誤りで試みに中等學校で自分の生徒の内申書を書く場合の心持と比較して見よ、といひたい。眞正直に書く先生は寧ろ生徒に對し愛情が足らんからだと極言しても好い位だ。文部省は煩はしい規定を作つて實施させようとしてゐるが論語の「子は父のためにかくし、父は子のためにかくす、直きことその中にあり」である。

工業が色盲者は採用せぬと公表したのは大變好い。各中等學校ともさしつかへのない採用内規等は公然と發表すべきである。陸海軍の學校は此點はつきりと公表してゐる。特に体格なんかどんなに細かに發表しておいても好いわけだ。第二校の考査情況を或程度發表せよといふ主張に私は贊意を表する。しかし中等學校にその勇氣はあるまいと思ふ。恐怖心を與へるなといふ注文もあるが是はあまり心配するまでもないやうだ。ただ問題はどんなに好く打ち合せておいても各室考査委員の間に誘導法の差があり、最初と半ば以後とにも多少の差が出來ることだ。此點は中等學校側の善處を要望する。高等科の生徒の問題も研究材料となる。

要するに人生は競爭場裡だ。教科書本位の明朗な筆記試驗をやつて小學校側の煩はしい報告書なんか全廢して可なりと信ずる。平地方も中學高女とも市立でも私立でも今一つ宛あつた方が成績の競爭にもなるし、入學緩和上も好いと思ふがそれは他の機會に述べたいと思ふ。（完）

文藝

地方文化新建設の意義と使命を知つて各地の文化團体から翼贊會文化部に協力してもらひたいといふ聲が強い。（上泉秀信）

「陰翳禮讃」を讀みて（五）

城木伊佐夫

次に厠の話しになるのであるが、尾籠なことだと眉をひめる人は、眞に日本的雅致を解し得ない人であらうと思ふ。文豪夏目漱石氏も、谷崎氏も又川端康成氏なども厠のことについては各々面白い意見を述べて居られる。

『茶の間もいいにはいいけれども、日本の厠は實に精神が安まるやうに出來てゐる、それらは必ず母屋から離れて、青葉の匂ひや苔の匂ひのして來るやうな植込みの陰に設けてあり、廊下を傳はつて行くのであるが、そのうすぐらい光線の中にうづくまつて、ほんのり明るい障子の反射を受けながら瞑想に耽り、又は窓外の庭のけしきを眺める氣持は、何とも云へない。まことに厠は虫の音によく、鳥の聲によく、月夜にも亦ふさはしく、四季をり／＼の物のあはれを味ふのに最も適した場所であつて、恐らくは古來の俳人は此處から無數の題材を得てゐるであらう。』

古來の俳人が厠から無數の題材を得てゐるかどうか?、寡聞な私は殘念乍ら知らぬ。その中、その道の何鳴氏にでもきいてみようかと思つてゐる。この後に、川端氏の『雪隱成佛』と云ふ小說の一部を引用する積りでゐたか、紙面の關係で玆では割愛することにした、今ではタイルのやうな便利な衛生的のものがあるので、繁華な町では杉の木目の出た、踏板や、腰板の厠なども恐らく見かけられなくなつた、往々、田舍などに、清潔好きの隱居所に閑寂な壁と、清楚な木目に圍まれて、眼に青空や、青葉の色を見ることの出來る厠に、出喰すことがある、やはりあゝ云ふ所は、或程度の薄暗さと、蚊の呻りさへ耳につくやうな靜さとが必要である。余りに明るく、四面が白い壁でもあると、見える部分が清潔であるだけ見えない部分の連想を挑發させるやうなもので、落ち着けないものである。

『蓋し食キとしては陶キも惡くないけれども、陶キには漆キのやうな陰翳がなく、深みがない。吸ひ物椀に今も塗り物が用ひられるのは全く理由のあることであつて、陶キの容れ物ではあゝは行かない、第一、蓋を取つた時に、陶キでは中にある汁の身や色合ひが皆見えてしまふ。

「詩」

きり

（平）住谷芳太郎

朝の霧
野に山に町に
たちこめて
一面に眞白だ
向ひの山も
今日は見えない
白い／＼
眞白い霧の中
いつも見える
田甫の中の
あの家も
今日はぼんやりと
浮んで見える
町の霧
霧の中に
出てはまた消える人
霧は流れて
家を包み人を包み
霧は流れる

連續講談〔118〕異說赤穗浪士（いせつあかほらうし）

桃川若燕
畫 城木喬

金右衛門頓死

見るより内藏之助は右手に持つた撥で主税の手を押へ『主税、それほどまでに此の内藏之助が犬と見えるか、然らばもう吉良殿の首級は良雄が手に握りしも同樣』『エッ』『實は東下りも近々なれど我が黨中とて油斷ならず臍を固めて今日の計略、此の内藏之助親子の者、一味同心の連判狀その姓名を切り拔いて除名致すといふ事を見聞きした人々が大石すら此心底なら我々も共に黨中を除名し長く此世を樂しまんと心二ツの侍はこれを好き機として其儘何れかへ退散いたさう、又先刻の廻狀に立腹して此家に拙者を斬らんと來る者は誠忠無二の忠義鐵心、現在の親子でありながら、其方の目に犬と見えれば此の山科に參つてゐる吉良上杉の間者を欺き終せたに相違ない、よいか晝は祇園、島原と夜道を構はず廓通ひ、傾城遊女に戯れて藝者末社を呼び集め、珍味佳肴を食するも却て心を苦しめる、上る布團は針の山、藝者末社の大勢は牛頭馬頭の鬼とも思ひ、當の相手の上野は閻魔王とも心得又呑む酒は焦熱の血酒に等しき思ひをしながら、晝夜を分たず遊び狂ひ、佳肴は食せど日々に痩せ衰へる、今までは此山科に居たれ共、江戸下向は近きにある、仇討の用意萬端も腹心の町人に申し付けある、必ず心配致すな……』と初めて明かす父の言葉、さしもの主税良金も今は何共返答が出來ず差俯いてゐる、

此時垣根の外に始終の樣子を聞いてゐた岡野親子は吃驚仰天中にも思ひ詰めてゐた金右衛門は良雄の心中を知るとハッとしたがその途端ウンと云つて仰向けに反り返る、此の物音に氣付いて内藏之助は庭先に立ち出で、

『何方でござるかの』

『御城代誠に恐入りましてございます』

『オ、岡野親子ではないか、サ、此方へお這入りあれ』

『這入るところではございません父が九死一生の場合』

『ナニ金右衛門殿が』

とその儘垣根の傍へ來ると金右衛門も九十郎も支度充分にして、鞘を拂つた槍を持つてゐる、

『九十郎父は何れへ斯樣な支度で行かれるか』

『此方へ上りました――』

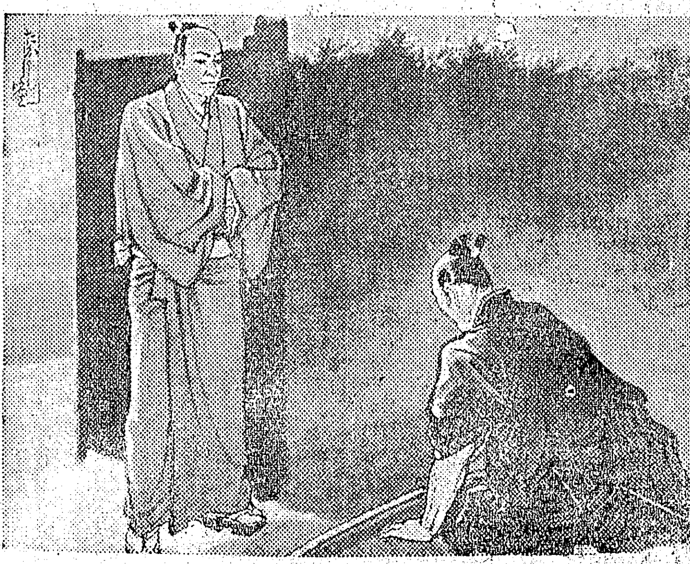
『ナニ拙者方へ、何んで眞槍を提げてお出でになつた』

『實は貴所を殺す心算で參りましたもの』

『ホヽウこれは危ないところであつたな』

と云ひながら倒れてゐる金右衛門を引起して種々介抱したが、俗に云ふ腦卒中、遂に歸らぬ旅の人となつた、大石の嘆きは一方でなく倅九十郎に父金右衛門の名を相續させた。

さて大石は黨中の者全部が己れの統制に服したのを知ると堺の町人天野屋利兵衛方に豫て造らせて置いた仇討に用ひる武器を江戸へ送らせ、山科の閑居を寺井玄慶に讓つて愈々江戸を差して下ることになつたが名目は泉岳寺へ冷光院殿の御墓參、玆で江戸へ下つた同志の人々を記すと第一番に横川勘平、此人は元祿十五年七月に江戸へ着した、次が岡野金右衛門、毛利小平太、千葉三郎兵衛、間十次郎、中田理平次、いづれも九月の七日に江戸着。木村岡右衛門、不破數右衛門は武林と共に江戸在住であつたが大石との聯絡役として一旦京地に上り再び江戸へ下つた大高源吾は京から母を赤穗の故鄕へ送つて一切の事を果して一路江戸へ下る。



木炭不足を補ふ黃金燃素
木炭一俵（四貫匁）用僅かに拾五錢にて松炭やボヤ炭又は煉炭タドン豆炭にても火附き能く堅炭同樣火力は二倍以上にて且つ永持ち致しますから御德用です

油のシミでも垢でも揉まず落る垢トール
一袋 貳拾錢
一箱 五拾錢
毛織物、作業服、木綿物絹物、スフ、人絹等のよごれを浸すだけで揉み洗ひの必要なく十分間にて生地を傷めず又絶体縮まずフックラと新品同樣に洗濯が出來ます毛髮、疊、夏帽子、皿、丼等の油あかも綺麗に落ちます
右一度御試用を願上ます
平市四丁目角
菅野屋商店
電話一五七番
【販賣店募集】

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

御會食に
御商談に
割烹
幸樂
小名濱町幸樂通り
電話201番

齒科一般
佐々木齒科醫院
日本齒科醫學士 佐々木三郎
泉村小學校前 電話一番

日の出醬油
釀造元
緑屋商店
小名濱町（電話二十九番）
千代田生命保險相互會社
富國徵兵保險相互會社
日產火災海上保險株式會社
代理店

曳前の御知らせ
漁船家屋其他動產の移動
土木建築請負
鐵道船舶仲仕請負
一般
御希望の方は一應御相談下さい
小名濱町榮町（築港地內）
北村芳藏

內科、產科
婦人科
▽一般診療に應ず△
▽病室完備入院應需△
久保田醫院
小名濱町 電話二三番

能率的な自轉車で銃前銃後は二人前の働き！
各種自轉車
販賣 修繕
……修繕は念入懇切に且つ迅速に御勤め致します……
小野輪店
小名濱本町四〇

外科主任 副院長 高橋俊幸氏
腎臟ニテ暫ラク靜養中ナリシモ今回全治、二月一日ヨリ再ビ診療ニ從事ス、
平病院（元共濟病院跡）（電話四一番）
院長 醫學博士 鈴木定藏
內科、小兒科
レントゲン科
物理的療法科 院長 鈴木定藏
內臟一般外科
皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
藥劑師 部長 吉本幸平
毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に應じます
急患は此の限りにあらず

姓名鑑定
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町
鵜沼孝昌

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板
ベニヤ板、建具材
木羽、便利瓦
建築木材一式
織田材木商店
平市 電四九〇番
製材工場 磐越東線赤井驛前（大作場）電二三五

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を取揃へました
是非
和
和久井屋へ御越し下さい
平市二丁目（電話四〇五番）

シンガーミシン
◎ミシン界に誇る◎
◎斷然日本一の◎
ニツポンミシン
アサヒミシン
精研舍ミシン
ニツサンミシン
販賣代理店
〔型錄進呈〕
平市驛前大通り
シンガーミシン販賣店
石川ミシン商會

久
和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九

△入院隨時▽
エツキス光線科
外科、內臟外科
安齋醫院
院長 安齋徹
平市田町 電五四七

外科、內臟外科
肛門病、皮徽科
泌尿生殖器科
專門
〔看護婦及見習看護婦募集〕
白土醫院
平市鎌田町 電二七九

內臟外科
整形外科
▽入院隨時△
內木外科醫院
醫學博士 內木宗八
平市大町

耳鼻科
咽喉科
▽入院應需△
增田醫院
醫學博士 增田[illegible]之
平市紺屋町 電六五一

吉田眼科醫院
平市紺屋町 番話六八番
醫學士 吉田久雄

外科（內臟、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
上田外科
院長 上田耕作
平市南町 電一二九

產科、婦人科
〔見習看護婦入用〕
井坂醫院
平市田町 電五五九

耳鼻科
咽喉科
專門
〔入院隨意、病室完備〕
大和田醫院
平市南町六 電話一七〇番

眼科專門
眼鏡檢定
眼科
重田醫院
平驛前

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
松村醫院外科部（平市南町）
醫學博士 松村亭

皮膚科
泌尿器科
性病科
江尻醫院
平市田町 電六九一
江尻伊三[illegible]

漁船の整理案成り
漁業王國も搖らぐ
操業を合理化し減産を防ぐ

燃料規正に伴ふ本縣の漁船整理問題は屢報の如く縣當局は過般來石城七濱の各漁業組合と折衝して意見を交換、各々善處するやう慫慂する處あつたが過般の調査に基き愈々大英斷を以つて揚繰網漁船百八十隻（三十八統）を半減の九十隻にする外各漁業共四月以降から漸次減船する方針を決定した

◎鰯あぐり…　現在百八十隻（卅八統）あるが四月八日まで五ヶ月間を一齊に休業して九月から三月までの最盛出漁期にしネン料の節約をはかり割當てられた數量で補ふ方針を樹てたが結局それでも九十隻を廢船しなければならぬ。整理は四月行ふ

◎機船底曳き…　現在百隻で十一月から五月まで出漁するが本年四月で大體操業を打切り三分の一を整理する

◎鰹鮪大型船…　現在江名に五隻、小名濱に六隻あるがこれは年十航海から十一航海してゐるのが本年から六航海乃至七航海に減じてネン料を節約する

◎秋刀魚漁業…　目下五十隻あるが九月十日から十一月末までの漁期を十月迄にし一ヶ年を短縮、最盛期を選んで漁獲の増産技術の向上をはかる、船は整理しない

前記の如く整理する發動機船は鰯の揚繰網船半減を最高に機船底曳網三分の一整理、秋刀魚船及大型遠洋漁船は操短することに依つて年産二千萬圓の本縣漁業を半減する怖れある爲漁業法を合理化させて三割減程度に止め年産千五百萬圓を維持すべく操業を指導することに成つた

古河所長下野博士
足尾銅山へ榮轉
竪坑復活其の他功績惜まる

好間村の古河炭礦所長工學博士下野十郎氏は銅山で有名な足尾鑛業所長に榮轉、後任の好間鑛業所長は本社工業課長齊藤政氏と決定下野博士は事務引繼ぎなどの關係から二十日頃赴任する豫定である

足尾銅山へ大榮轉した下野博士は本邦鑛業界の權威で大正十五年足尾銅山參與から好間鑛業所長に轉じ、十六年目に錦を飾りに古巣へ歸る譯である、同氏は竪坑水沒直後着任、爾來炭鑛界未曾有の苦境時代に遭遇しながら同坑を微動だにさせず、殊に燃料國策の線に沿ふべく復活困難視されてゐた水沒の竪坑復舊工事に着手成功を收めるなど好間鑛業所に盡した功績は頗る大きく全山從業員から轉出を惜しまれてゐる

平警防團幹部
中央視察

平警防團副團長大間喜紫同庶務部長白戸喜伯、鈴木勇作の三氏は十二日から三日間内務省の紹介で大日本警防協會、警視廳、消防本部等を歷訪警防並に消防施設等の研究視察をする

第一校の志望調べ
就職の大半は工業方面

平第一小學校では卒業期の三學期に入つたので卒業兒童の進學並に就職希望を取纏め職業指導所と連絡を圖りこれが指導等に大童だが一月末調査の進學、就職希望狀況は次の如く進學では從來の型を破つて平商希望者が九十三名の多數を示した、これは昨年度の同校窄き門からハミ出されたもの約半數の四十五名が高等科より受驗するに依る、一方高卒生就職希望は政府の方針である重點主義が反映して工業方面が五十五名で斷然多く商店關係は僅か九名に過ぎずうち大部分は自家手傳と成つてゐる

【進學希望】△磐中八十二名△平商九十三名△平工業十四名△私立中等校二十名

【就職希望】△工業方面五十五名△商業方面九名

泉、小名臨港鐵道
今月末認可か
魚類輸送に新生面開かる

地方民渇望の小名濱、泉驛間臨港鐵道敷設工事進捗狀態は省線との連絡地點泉驛構内入換工事を殘して殆んど完成、鐵道省の使用認可指令を待つてゐるが鐵道省では工務並に運輸局を無事通過し目下監督局で審議を進めつゝあり本月中には正式な認可指令に接するものと見られ、ガソリン使用制限で輸送難に惱まされて來た鮮魚や煩刺業者は多年の「癌」が除かれ大陸に新得意を開拓して一路増産に邁進する

尚ほ正式認可指令に接しても臨鐵の泉停車場が出來上らないため乘客運輸はこゝ當分延期し貨物運送專用として利用されることに成つてゐる

平市二回目の
常會委員會
恒例の七日に開く

平市常會委員會は七日午後一時から市會議事堂に開き次の議案を協議する

△公私生活及び冠婚葬祭の改善刷新の實行に關する件△興亞奉公日新方策實施に關する件

緬羊飼育奬勵
七日平窪産組に開く

縣主催の緬羊飼育講話會は七日午後一時から平市平窪産業組合に開き、農事實行組合關係者を集め縣畜産課の鈴木技手から緬羊飼育奬勵の講演がある

濱三郡下の
學校長會議
十八日平第三校に開く

縣主催平市並に濱三郡下小學校青年學校長會議は來る十八日午前九時から平第三小學校に開き左の事項を協議する

△教職員共濟組合實施の件△中等學校選拔に關する件△教職員外地派遣の件△青少年團結成に關する件

校外取締

平市内各學校兒童生徒校外取締協議會は八日午後一時から平第一小學校に開く

食糧報國運動に
空地利用
隣組で疏菜類を栽培

平市では縣の指示に基き常會を通して家庭の主婦を動員、勤勞奉仕に依つて空間地を多角的に利用し、疏菜類の自給自足を圖り食糧報國運動に乘出すべく先づ市内二十八區内會へ『それ〳〵プランを樹て思ひ〳〵に試作するやう』通牒を發することに成つた

市内には現在でも隣組が協力して空地利用の畑作を行つて相當の成果を擧げてゐる處五指を屈し、放置されたまゝの空地も相當あるから指導方法に依つては相當の收獲を擧げ得る見込みで近く區内會長を招き趣旨の徹底と方法を指示することに成つた

素人記者の漫歩

（10）

諸橋敬一郎氏の印象

稻水生

諸橋敬一郎氏は平庶民金庫の專務理事だ、組合長が諸橋久太郎氏だから、毎日の實務は敬一郎氏がやつてゐる事は説明する迄もあるまい。平庶民金庫、詳しくいへば有限責任信用組合平庶民金庫は二丁目にある。入つて見ると間口は狹いが奧行は廣く、二階建の立派な建物だ。十數人の男女の方が忙がしく事務をとつてゐる。案内を乞ふと「どうぞ」といふが自分には誰れが當の諸橋氏か皆目見當がつかぬ。何れ偉い人だから奧の方に違ひないと思つて眞直に入つて一番奧の右側の椅子に居る人が偉い人らしいので、前に行つてピョコンと頭を下げた。するとそれは諸橋氏ではなくて、諸橋氏は左側の金庫の近くに居る人だつた。さういへば鹽屋の忠兵衛さんも金庫の前にゐたやうであつたと苦笑しながら挨拶を交はした。若い人とは豫想してゐたが此專務理事は詰襟の洋服をつけて椅子に坐つてゐる所はどう見ても大學生といつた感じだ。さういへば机の上の日記と書いてあるノートは洋罫紙の學生ノートであつた。年三十七才、入社以來七年になるといふ事だ。東北帝大出身で磐中卒業は山崎忠兵衛さんと前後してゐる。眼鏡をかけ算盤で數字をはじいて見せたりしながら雄辯に庶民金庫の使命を説くあたり、聽いてゐて恍惚してしまふばかりだ。

この庶民金庫は共存共榮相互扶助の精神に基いて出來て居るもので組合員は一口廿五圓、一人五口百廿五圓宛出資し合つて組合員の間で金を融通し合つて居るものである。現在組合員は千二百人ばかりある。また組合員及一般平市民の貯金も取扱つてゐる。大正五年の創立であるが年々發展して來て昨年末の總貯金高は百四十萬に達し縣下第一となつた。それで多少經費の餘裕も出來て來たのでその餘剩金を以て是迄本金庫のため勞苦を共にして來た事務員の方々の待遇改善に當てた。今後は貸出しの利子を安くする方面に振り向けたいと思つてゐる。

趣味は何ですかと聞いて見ると「讀書位なものですね」といふので「近頃お讀みになつた本で面白かつたもの？」と伺つて見ると

笠信太郎氏の「日本經濟の再編成」ですね。是は計畫經濟の事を書いてあつて有益な本です。

といふわけで現在日本の經濟を論じ、産業部門の上層部が口に國家非常時をとなへながらまだ本當に覺醒してゐない矢張自分の會社の利益といふうな事を念頭に置いて國家といふ大乘的な立場から事をやらうとはせぬ。一番新体制におくれてゐるのは資本家だといふやうな事を論じられた。

午後四時半事務員の方々が帳簿をかたづけ始めたので此邊でと思つて暇を告げた。

各銀行が歩調を一にし一致協力してその地方の産業開發のための事業に援助して危險の分散をはかるべしといふやうな意見も洩らしてゐたやうであるが、氏には旺盛な研究心と理論と實際を一致させようとする熱意が窺れる。話を聽いてゐると突然の訪問であるにもかゝはらず、實に秩序整然と話をすゝめてゆく、これを以て見てもこの人の頭の好さがわかる。磐銀平銀が姿を消し一方全國的世界的の經濟界の再編成の嵐の中に立つ平市金融界の將來のため氏の自重を祈るものである。

黑ダイヤ増産へ
「慰問團訪問」
浪曲、萬歳、歌謡曲で行脚

ネン料國策の線に沿ひ一路石炭増産に邁進してゐる常磐炭礦へ大日本産業報國會は坑夫その他從業員を慰勞するため浪曲界の寵兒雲井天女一行を座長とする萬歳、歌謡曲の一行十余名を以つて「炭礦慰問團」を編成、今六日から十八日間に亙つて常磐地方の大小炭礦を慰問行脚することに成つた

炭礦側でもこの慰問團を迎へ増産にピッチを擧げるべく張り切つてゐる

一行の日程

△六日、[illegible]曹小田坑事務所△七日、入山自治會館△八日、九日、磐城炭礦記念館△十日、古河炭礦日坑クラブ△十一日、大日本炭礦（勿來）元山及三澤集會場△十二日山添、十三日廣部△十四日、三松△十五日、隅田川、平△十六日、福島△十七日、赤井△十八日、常磐△十九日、大倉△廿日、浪花、神奈川△廿一日、王城、不動澤△廿二日戸部、宮△廿三日、小野田、長倉集會場

太田渡伍長
五日原隊で戰死發表

湯本町出身太田渡伍長は中支戰線で戰死を遂げた旨五日原隊から發表された

喧嘩は兩成敗で
船合戰に罰金
責任者は十八日公判開廷

鰯の漁場爭ひから廣野沖合海上で船合戰を演じた小名濱町比佐政種氏所有開運丸と四倉町長谷川西次郎氏所有不動丸の漁夫二百余名は平檢事局の取調べを受けてゐたが小名濱側二十九名、四倉側四十五名何れも傷害罪で起訴され、責任者である開運丸船長志賀丑太郎（四一）同副船長佐藤六郎（四六）不動丸船長佐藤慶之助（三九）の三名は櫻井判事係りで公判開廷他の漁夫四十二名は何れも略式罰金を言渡された

◇四倉側　罰金五十圓尾口秋次郎（三九）新井喜代治（三二）關根安喜（三三）卅圓武田傳治（三八）外十一名

◇小名濱側　六十圓鈴木由松（三九）五十圓竹村英二（三二）大波重信（三一）髙橋久吉（三〇）木村政光（三〇）菊地武夫（三一）和田山義正（三〇）豊田賢太郎（三四）卅圓瀧口五野左衛門（三四）外十八名

片倉製絲場は
新年度操短

舊正の休業は八日操業

片倉磐城製絲工場は數年來舊正月休みにも女工さんは歸郷せず、事變下の職域奉公に努めて來たが今年は操短の止むない事情に立到つてゐる爲四百名の絲姫は全部歸郷、八日から操業を開始することに成つた

尚同片倉製絲工場は操短の爲新年度は女工の數を約百名位減員する模樣である

全國農村代表
警防團講習
神谷村草野團長選任

十七日から一週間東京市内務省に開かれる農村警防團幹部講習會本縣農村代表に神谷村警防團長草野太代氏が選ばれ受講することに成つた

學藝會

平第二小學校では來る八日午前八時半から針供養會を開き兒童の學藝會も併せて開く

養蠶の不安除く
蠶業講演會

蠶業前途の不安を一掃するため蠶絲業聯盟會主催で開く蠶業時局講演會は平蠶業取締支所管下で次の二ヶ所で開かれる、講師は縣蠶絲課から追つて發表される

△十七日午前九時、下小川村小學校、△八日、上遠野村小學校

興亞奉公日に
恒例の寄附

匿名の市民感謝さる

興亞奉公日を期し毎月一圓宛市銃後奉公會へ寄附して來る匿名の篤志家が四日第十八回目の送金を兵事課へして來た名も告げぬ一市民の篤志に兵事課員も感激し匿名の贈り主を極力搜すことに成つた

石城町村長會
役員全員再選
重要案件何れも可決

石城町村長會は昨報の如く六日午前十時から平市團体事務所に開き明年度豫算三千五百十四圓を異議なく承認、町村表彰吏員の調査報告、優良町村視察其他提出議案決定、縣立磐中、磐女兩校増築に伴ふ町村側負擔金二萬圓の割當ても十五、六兩年度別納入を原案通り可決、小學校教員及吏員の家族手當て問題では町村の吏員は薄給に甘んじて居り本年度限り打切ることに相當異論が出て結局十五年度（本年）に物價手當を支給しつゝある町村は其のまゝ据置き支給する外家族手當ては十月に逆上つて本年度中支給すること、明年度（十六年）は物價手當てのみ豫算へ計上すること等決定、本年度の戰地慰問品割當てをそれ〳〵決定役員改選の結果、町村長會の任務重きを加へるの時であり翼贊會等の連絡關係もある爲會長、副會長、評議員共選擧を用ひず全員再選に決定した

町村會役員

△會長、伊藤淺之助（飯野）△副會長、金成淺治（好間）△評議員、古川傳一（植田）志賀直哉（鹿島）沼田濱之助（内郷）金成淺治（好間）新妻盛（四倉）萩野倉太（永戸組合）小野晉平（小名濱）佐藤庄太郎（神谷）横山太一（勿來）上遠野庄九郎（入遠野）

優良町村の
視察委員

別項、石城町村長會の新年度優良町村視察員は左の如く決定した

△郡代表視察員、川前村長永山忠治、内郷村長、沼田濱之助

△市町村振興聯盟視察員、神谷村長佐藤庄太郎、湯本町長中里顯太郎（靜岡、愛知、三重）

『愛婦機』獻納
平分會も運動を開始

來月二日は愛國婦人會四十週年記念日に當るので同會ではこれを記念六百萬會員並に篤志家の贊助を得て軍用機二十台獻納を起すことゝに成つた、平分會でも同運動に協力近く幹部が參集して獻納運動の具体化を協議する

愛婦會員醵出金は一口十錢以上とし篤志家並に會員で五十圓以上贊助された人々には有功章を贈與する

尚平分會では前記計畫の外祝賀祝典の計畫も進めてゐる

勿來停車場と
窪田間鋪裝
工費十五萬圓で着工

勿來町停車場、同窪田間縣道は最近附近の炭鑛から積出す石炭輸送に著しく輻輳を極めてゐるので既報の如く地元では十六年度鋪裝工事の陳情に數次に亙つて出縣してゐたが今五日から一週間縣では同道路の測量に着手した

同路線は延長二粁半、副員六米から九米で工費十五萬圓の豫定である

映画番組

六日替り

聚樂館　◎東寶映畫　高勢實乘　榎本健一　李香蘭主演『孫悟空』大會　◎フォックス映畫　グレーン・モリス　エリノア・ホーム主演『大ターザン』

世界館　◎新興映畫　逢初夢子主演『夢みる娘』◎新興映畫　市川男女之助主演『千兩役者』◎大寶映畫『曉の神州』

平市慶弔錄

【出生】平市字揚土拾五番地齊藤作治三女公子さん△平字新川町二十七番地松崎純一郎三男元彦さん△平市北目町九番地川島佐内三女美代子さん△平市南町六十四番地高橋利雄長女惠子さん△平市禰宜町七番地石川信一さん四男邦彦さん【死亡】平市四軒町十九番地水野ツル（六四）△平市北目町十一番地平田忠吾（六四）

天氣豫報

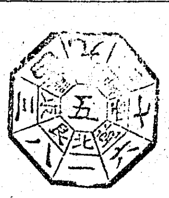
今晩　南西の風後北西の風晴れ一時曇り

明日　北西の風晴天海上は穩かです

（七日）

滿潮　前二、三五　後……

干潮　前……　後七、四五



舊正月十二日

金曜　丙戌　赤口　成　牛宿

新二月七日

▲一白　小敵と見て侮らず自己の力を發揮するに吉

▲二黑　氣運平順なる故大望さへ企てざれば咎なし

▲三碧　躁氣となりて失敗の恐れあり諸事進むに凶

▲四綠　苦勞甲斐の現はるゝ日迷ひの念を去るべし

▲五黄　些細の事柄にても心許さず落付くが極安全

▲六白　是まで滯り居たる事も追々解決に近づく日

▲七赤　多辯は後日に災を遺すべし交際圓滿を期せ

▲八白　平順なるに似て實は然らず輕動を愼しむべし

▲九紫　本分さへ忘れざれば業務榮る良運日なり

(大)の削節

冷凍魚、鯨肉、ハム ソーセーヂ
海苔、鰹節、其他食糧品

日本水産特約
ヒノマル食品店
平市三丁目
電話三二八番

フクロク・ストーブ
入荷のお知らせ

◎久敷品切れ致し居りましたが此度少々配給入荷致しました
◎此度の入荷で當分入荷の見込みはありません

御入用の御方は品切れにならぬ中に成るべく早く御注文下さい

【御希望の方へカタローグ「公定價」を差上げます】

平驛前　阿部石炭店
電話37番、137番

平陽女學校の
卒業生　同に告ぐ

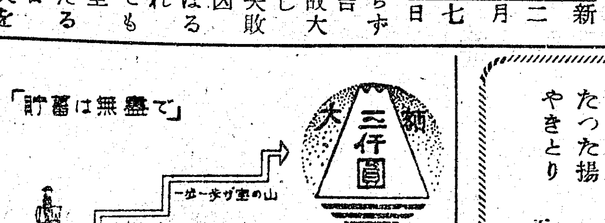
來る二月九日左記に依り本校同窓會並に音樂會開催に付同窓生皆樣の多數御出席をお待ち申上げます

◇二月九日午前八時半
本校講堂ニ於テ同窓會

◇仝日午後一時
公會堂　於テ音樂會

平陽女學校

御誂ひも既製品も
髙島屋洋服店
平二　電三八六



「貯蓄は無盡で」
一歩一歩ず宝の山
社交お設しくふらぬうち
無駄がけましよう今のうち
磐城無盡

おでん
たつた揚
やきとり
平市一丁目
一平

割烹
松本樓